

ブラザー互換（LC211/213/215/217/219用）

（LC110/111/113/115/117/119用）詰め替えインクボトルの使用法

【ご使用前に必ず行って下さい！】

- ※本製品のご利用には、メーカー純正インクカートリッジ（又は純正品のリサイクル品）が必要です。
- ※本製品は、上記の純正品インクカートリッジや純正品カートリッジのリサイクル品には対応していませんが、互換品インクカートリッジには一切ご使用いただけませんのでご注意ください。
- ※本製品のご利用には、別途、I Cチップリセッター（残量表示をリセットするため）が必要です。
- ※本製品は、ブラザー製「LC211/LC213/LC215/LC217/LC219シリーズ、LC110/LC111/LC113 LC115・LC119シリーズ」の純正品インクカートリッジに対応した、インク補充用の詰め替えインクボトルです。
- ※本商品は、メーカー純正品ではございません。
- ※当店では、商品発送前に検品スタッフが万全の検品を行っておりますが、万が一、ご購入頂いた商品に不具合（開封時点でのインク漏れ等）がございましたら、すぐに販売店までご連絡いただけますようお願い致します。商品交換等でご対応させていただきますのでご安心下さい。

【対応インク型番一覧（純正品カートリッジ）】

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ●LC211（BK/C/M/Y）シリーズ | ●LC110（BK/C/M/Y）シリーズ |
| ●LC213（BK/C/M/Y）シリーズ | ●LC111（BK/C/M/Y）シリーズ |
| ●LC215（C/M/Y）シリーズ | ●LC113（BK/C/M/Y）シリーズ |
| ●LC217（BK）シリーズ | ●LC115（C/M/Y）シリーズ |
| ●LC219（BK）シリーズ | ●LC117（BK）シリーズ |
| | ●LC119（BK）シリーズ |

【インク詰め替え時の注意事項】

- 詰め替えを行うインクカートリッジは、必ずメーカー純正品のインクカートリッジ（メーカー純正品のリサイクル品含む）をご使用下さい。
- ※互換品へのインク詰め替えには、一切対応していませんのでご注意ください。
- インクの詰め替え作業を行う際は、衣服が汚れないようにご配慮いただき、新聞紙などを敷いて、その上で作業を行って下さい。また、インク汚れを防止するために、手袋の着用やティッシュペーパーや雑巾をご用意下さい。
- カートリッジの再生回数（インクの詰め替え）は、4～5回が目安です。それ以上は、新しい純正インクカートリッジをご用意下さい。

【インク詰め替えのタイミング（時期）は？】

- 詰め替えインクのご利用は、インクが切れてから短期間内に行うことをお勧め致します。
- インク切れから空のインクカートリッジを長期間放置すると、残量インクがカートリッジ内で乾燥したり、スポンジの劣化やプリンタヘッドが目詰まりする原因となる可能性が高くなりますのでご注意ください。

【製品保管・安全上の注意事項】

- ※ボトルに残ったインクは、必ずキャップを付け、高温多湿を避けて冷暗所で保管して下さい。
- ※ボトルインクは開封後、1年以内に使い切ってください。
- ※未開封のボトルインクは、2年間保存可能です。
- ※本製品は、お子様やペットの手が届かない場所にて保管下さい。
- ※万が一インクを誤飲された場合は、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- ※万が一インクが目や鼻に飛散した場合は、直ちに綺麗な水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けて下さい。

【詰め替えインクボトルの使用方法（ブラザー用）】

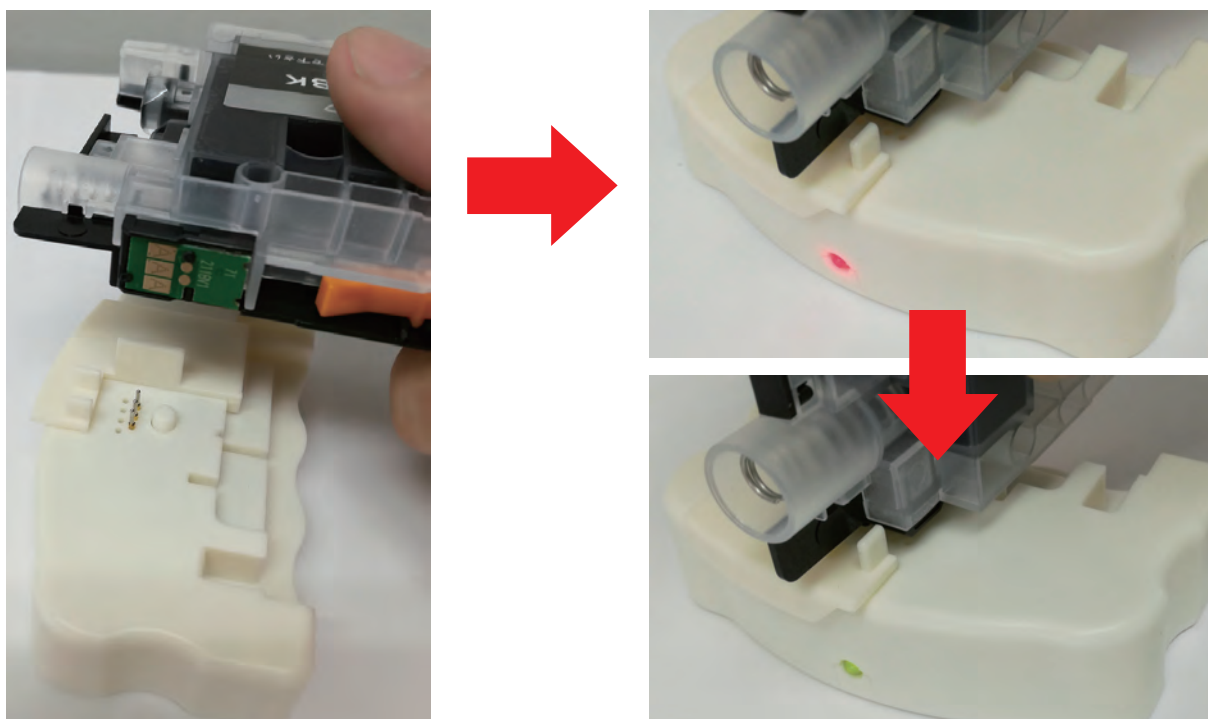
①カートリッジをICチップリセッターでリセットする。

(1) 赤いランプが点滅するので、リセット突起部分をインクのICチップ面に接触させます。

(2) 赤い点滅が止まって緑ランプに変わったらリセットは成功です。

※緑色に変わらない場合は、①～②を繰り返し行って下さい。

※交換するインクが複数の場合は、一度USBケーブルをPCから取り外して電力カットを行い、再度1個ずつ①～②を行って下さい。



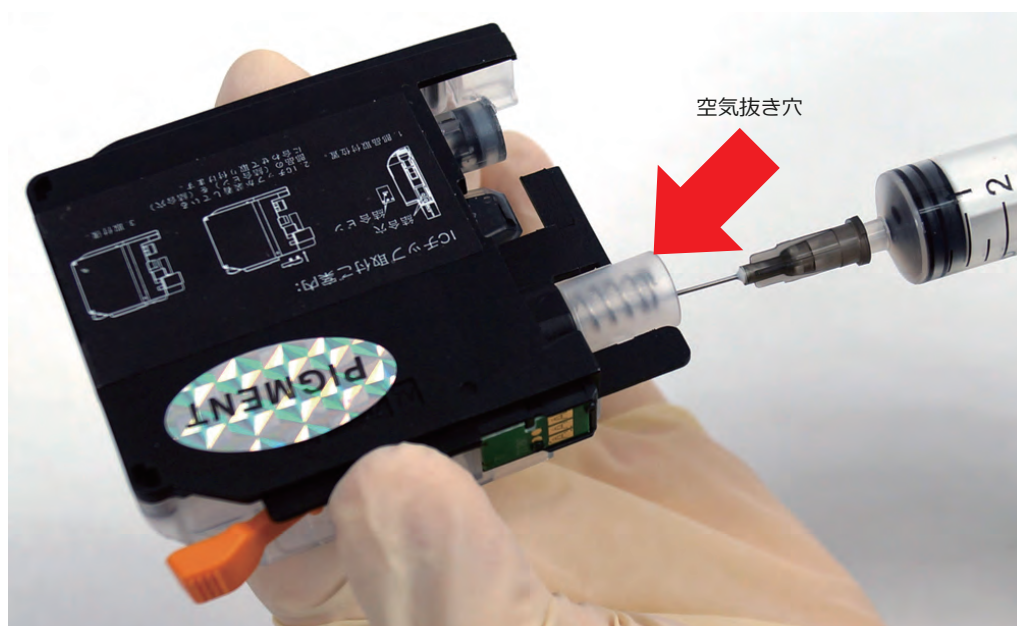
②インクカートリッジ内の空気を抜き取ります。

●付属の空の注射器でインクカートリッジ内の空気抜き穴から、空気を2～3度抜いて下さい。

※インクの注入前に、最初に空気を抜かないとインク漏れが起こる場合がございます。

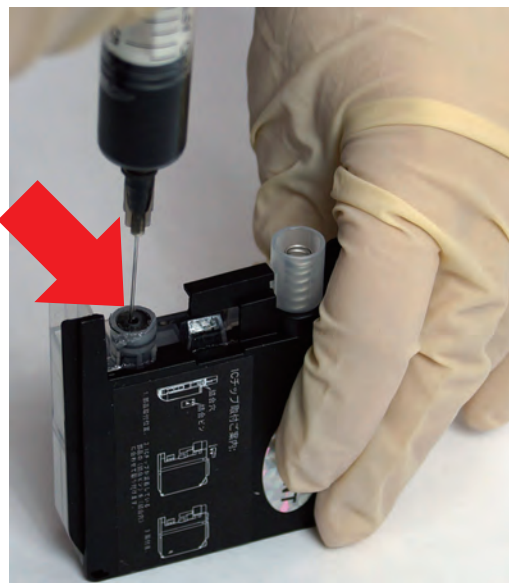
※空気抜き穴と、インクを挿入する穴を間違えないように作業を行って下さい。

※空気を抜く際に、注射器がかなり引っ張られますが上手く2～3度空気抜きを行って下さい。



③インクを注入します。

- 注射器の5 mmの目盛りくらいまでインクを注射器に吸わせ、インクカートリッジのインク注入口に注射器を差し込みます。
- ※②の行程で上手く空気抜きが出来ていれば、注射器からカートリッジ内に勢いよく勝手にインクが吸い込まれていきます。
- ※インクが勝手に吸い込まれない場合は、キチンと注射器を「奥まで」挿し込んで「ゆっくり」インクを流しこみます。
- ※本行程の前に指先がインクまみれになっている場合は、「ICチップ」にインクを付けたり、静電気を与えないよう注意して下さい。
- ※ある程度のインクを注入したら、カートリッジを横に寝かせて注射器をゆっくり離して下さい。カートリッジ内が満タン近くになっていれば、余分なインクが注射器に戻ります。



④最後にもう1度カートリッジ内の空気を抜き取ります。

- インク注入時に少なからず空気も一緒に入っているためです。1～2度空気抜きを行います。
- ※こちらを行わないと、インクが上手くプリンター内に充填されない事がございます。
- ※2度目の空気抜きまで終わりましたら、プリンターに装填して終了です。

